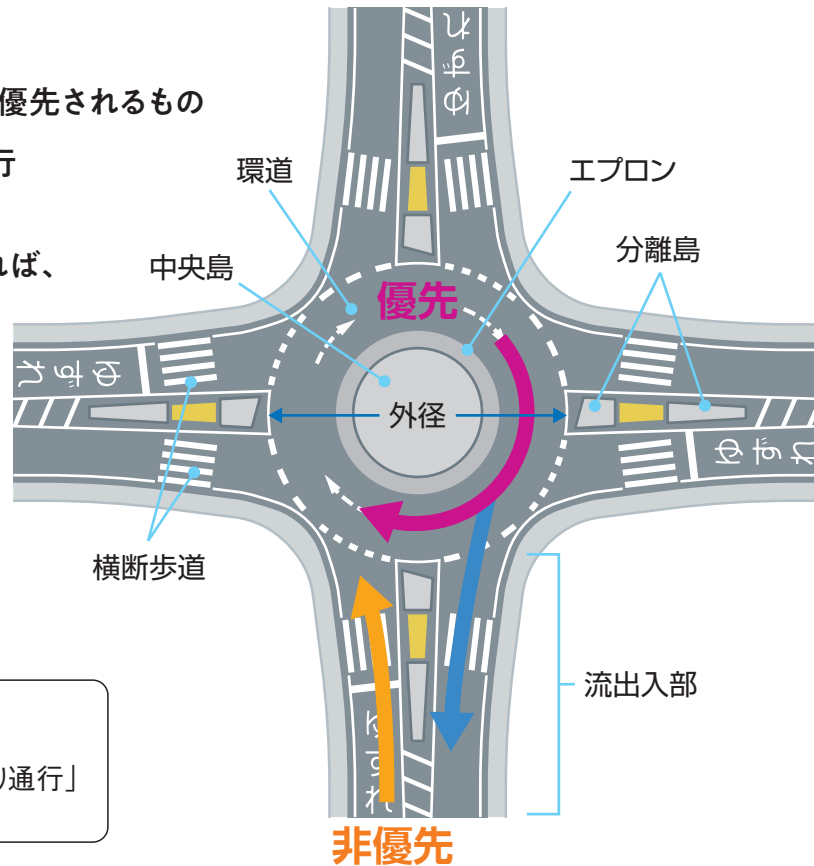


ラウンドアバウトとは？

右回り一方通行で環道優先の円形平面交差点

ラウンドアバウトの概要

- 円形平面交差点のうち、環道の交通が優先されるもの
- 環道交通は1車線で、右回りの一方通行
- 環道に流入する車両は徐行、横断歩行者や環道に通行車両がなければ、一時停止なしに流入可能
- イギリス、ドイツ、アメリカなど欧米各国では広く普及
- 都道府県公安委員会が道路標識等を設置し、「環状の交差点における右回り通行」の交通規制を実施（環状交差点）



規制標識
「環状の交差点における右回り通行」

安全・安心かつスムーズな交通を実現

ラウンドアバウトのポイント

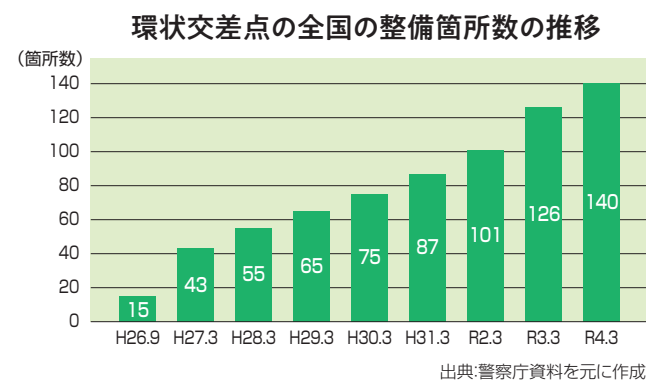
- 交通量が少ない平面交差点部に導入が可能
- 交差点の安全性が向上（車両間交錯点の減少など）
- 赤信号による待ち時間が減少
- 多枝交差点など複雑な形状の交差点でも導入可能
- 信号停止によるアイドリング時間を削減し環境負荷を軽減
- 災害等に伴う停電時でも安全に通行が可能

※ 導入にあたっての適用条件等については、「望ましいラウンドアバウトの構造について」、「ラウンドアバウトマニュアル2021」をご覧ください。

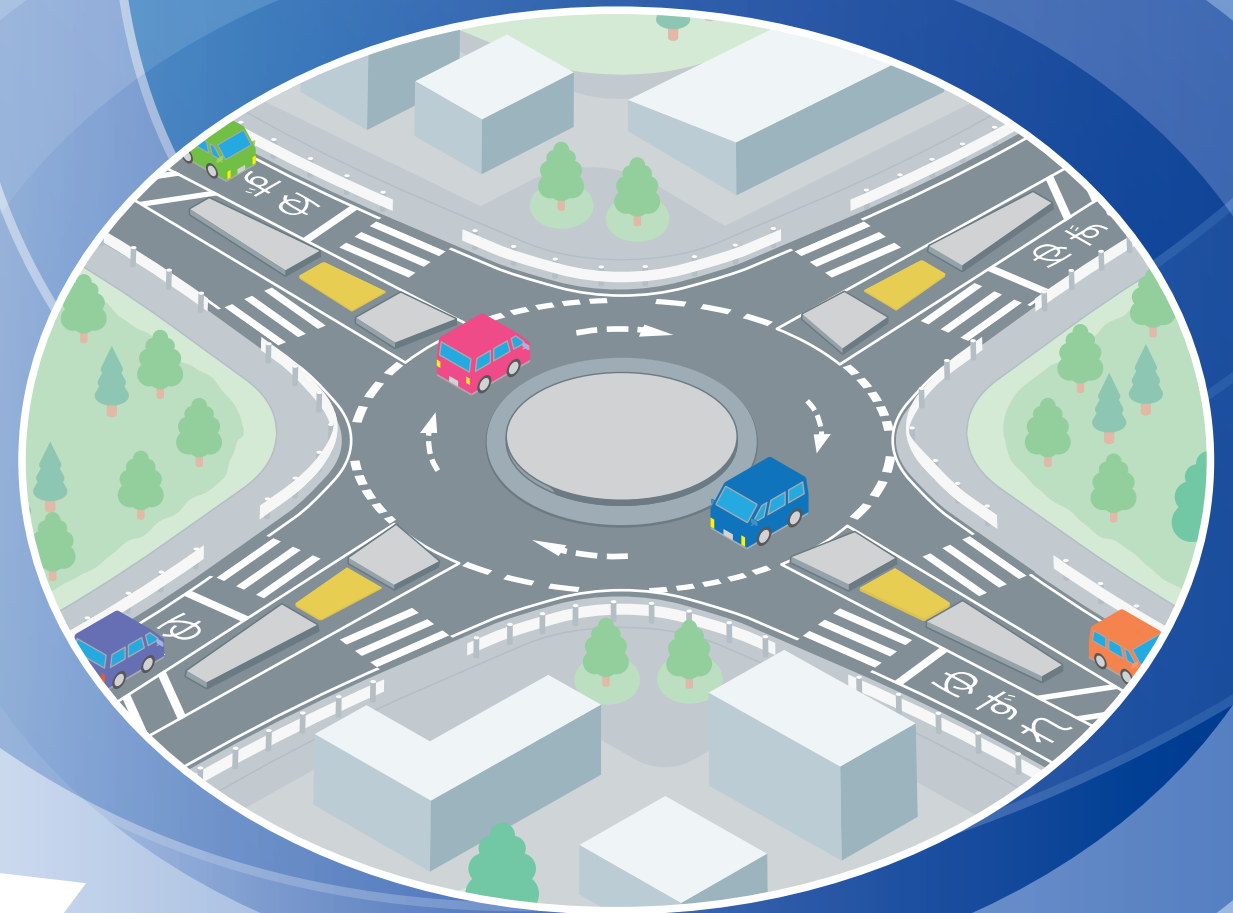
全国各地で普及拡大

整備状況

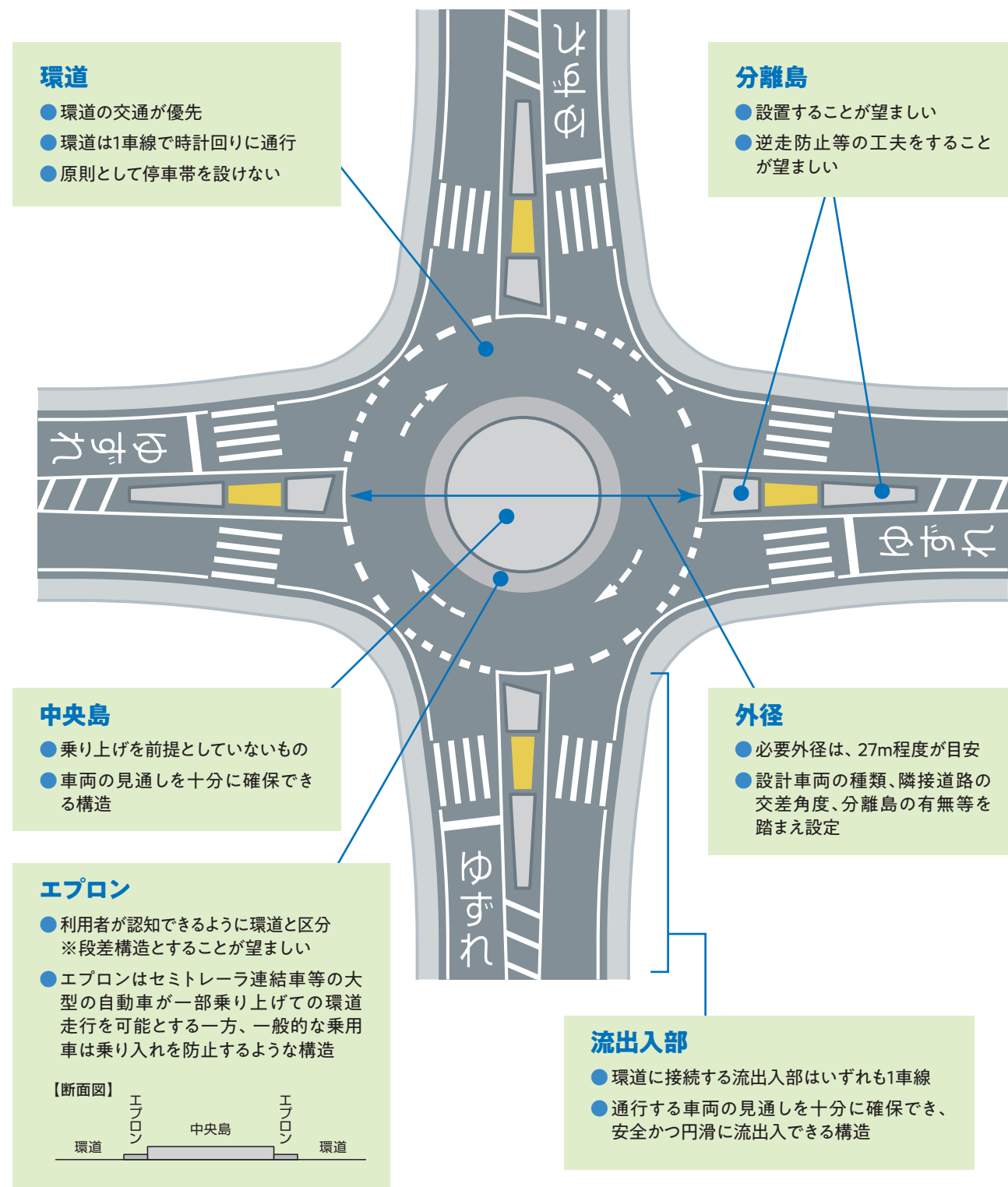
- 環状交差点は全国の40都道府県、140箇所で開催（R4.3現在）



ラウンドアバウト のすすめ



ラウンドアバウトの構造



詳しくは……

- 「望ましいラウンドアバウトの構造について」(平成26年8月8日国土交通省道路局通知)
- 「ラウンドアバウトマニュアル2021」(一般社団法人交通工学研究会)



ラウンドアバウトの特長

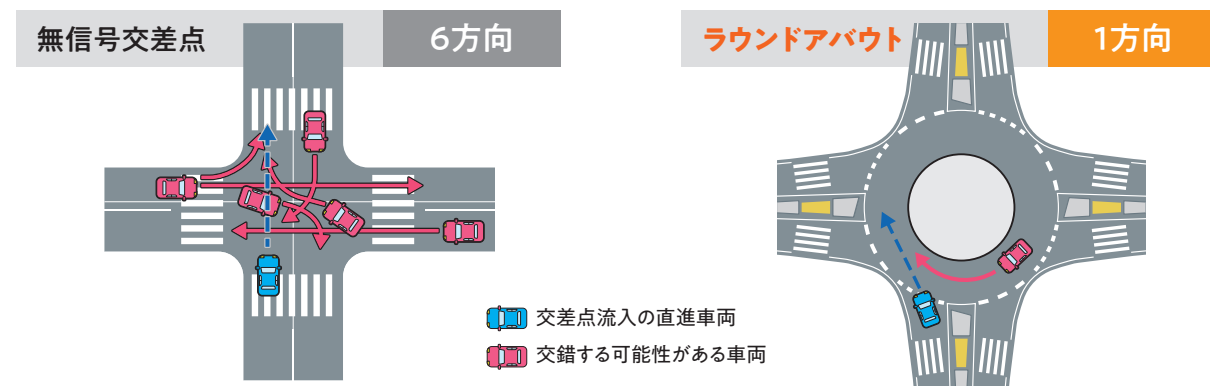
1.交通量が少ない平面交差部に導入可能

- 日当たり総流入交通量が10,000台以上の場合は、適用の判断が必要(詳細は「ラウンドアバウトマニュアル2021」等で確認)

2.交差点の安全性が向上

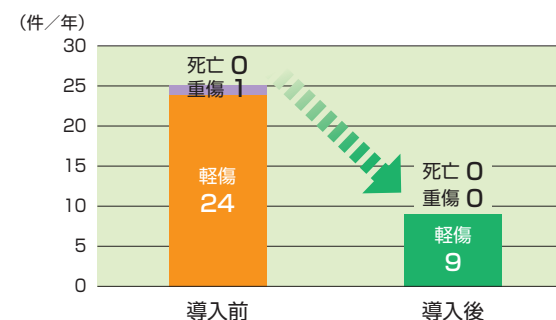
車両間交錯点の減少

- 交差点に流入する際の車両間交錯点が、無信号交差点と比較して大幅に少なく、交通事故が低減



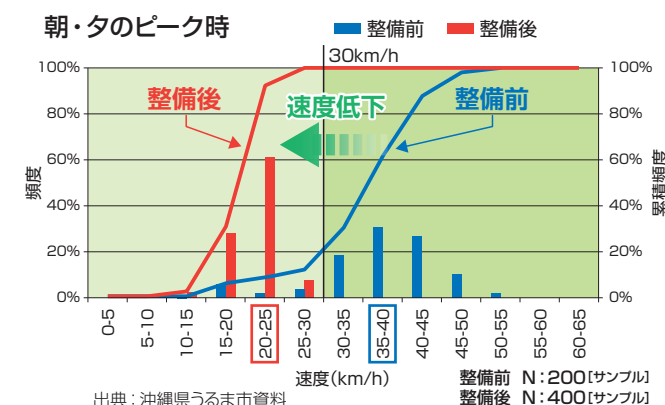
交通事故が減少

- 導入後は、交通事故件数が減少しており、特に死亡事故、重傷事故の重大事故は発生していない



車両の速度抑制

- 導入後は、交差点を通行する速度が30km/h以下に抑制されている



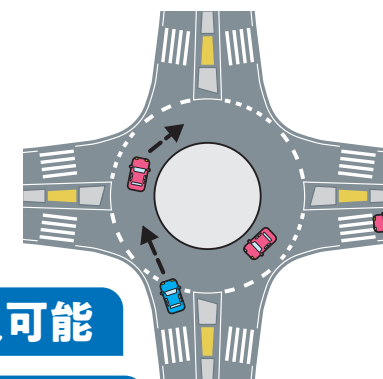
3.赤信号による待ち時間が減少

- 信号がないため、交通状況に応じて一時停止することなく、交差点に徐行して進入可能

4.多枝交差点など複雑な形状の交差点でも導入可能

5.信号停止によるアイドリング時間を削減し環境負荷を軽減

6.災害等に伴う停電時でも安全に通行が可能



導入事例

生活道路の交通安全対策

- 住宅地等において、幹線道路からの流入部や地区内の交差点をラウンドアバウトとすることで、生活道路の安全性を確保しています。



新金岡町2丁地内交差点(大阪府堺市)

生活道路において、ラウンドアバウトとスムーズ横断歩道等の他の生活道路対策を組み合わせた整備をすることで、車両の走行速度の抑制を図りました。

導入事例

道路の機能変化を印象づける

- 高速道路から一般道路へ接続する交差点をラウンドアバウトとすることで、道路の機能変化を明示的に利用者に示すことができます。



安ハイインター東交差点(岐阜県安八郡安八町)

スマートインターチェンジとの接続により、車両が高速道路から高い速度を維持したまま町道に流入することが懸念されたため、速度抑制を図る対策としてラウンドアバウトを整備しました。

導入事例

多枝交差点の交通整序化

- 5枝以上の多枝交差点では、通常の4枝交差点に比べ車両間交錯点が非常に多いですが、ラウンドアバウトの導入により車両間交錯点の大幅な削減が可能となります。

交通が交錯する6枝交差点への導入



整備前



整備後

六本辻交差点(長野県北佐久郡軽井沢町)

自動車・歩行者・自転車が輻輳する危険な6枝交差点であり、信号制御による対策は困難であったため、ラウンドアバウトの整備により、交差点の安全性の向上を図りました。

変則的な5枝路の信号交差点への導入



整備前



整備後

末崎環状交差点(岩手県大船渡市)

住宅地における安全性の向上や信号交差点での待ち時間を解消(信号機を撤去)するため、ラウンドアバウトの整備を行いました。

導入事例

災害に強い交差点

- 東日本大震災の被災地では、信号機がなく、災害に伴う停電時にも機能するラウンドアバウトを地域復興のシンボルとして整備しています。



亘理町公共ゾーン中央交差点(宮城県亘理郡亘理町)

新たに整備された町役場の庁舎や防災広場など、地域防災拠点に隣接する町道上に復興のシンボルとして整備しました。

導入事例

まちのシンボルとして活用

- 市街地に整備されたラウンドアバウトでは、中央島に市章やロゴマークをデザインするなど、まちのシンボルとしても活用しています。



港島南町6丁目交差点(兵庫県神戸市)

神戸市中央区の人工島ポートアイランドの開発地区のラウンドアバウトに神戸開港150周年を記念して、中央島に事業ロゴマークをデザインしました。

導入事例

積雪寒冷地の交差点

- 構造の工夫により、積雪寒冷地においてもラウンドアバウトを整備しています。



子坂交差点(山形県長井市)

積雪・降雪時においても、道路端や中央島、分離島を識別できるようにするため、スノーポールや自発光式の誘導標を設置しました。

除雪時にブレードなどが接触しにくい曲線形状のエプロン境界部構造を採用しました。

導入事例

視覚障害者への配慮

- 車が接近してくる方向を音でわかりやすくする対策や、横断歩道を安心して渡れるようにするための対策を実施し、視覚障害者にも配慮しています。



流出部の車道をグルーピング(路面に溝を刻む)舗装し、流出する車両の存在を音で知らせる工夫をしました。

グルーピング舗装

尾倉ロータリー(福岡県北九州市)



横断歩道上にエスコートゾーンを設置するとともに、横断歩道の両端に意思表示灯を設置しました。

エスコートゾーンと意思表示灯を設置

吉川地内交差点(岡山県加賀郡吉備中央町)